



豊トラスティ証券株式会社



# 新しい 資産運用法 CFD



## 最近よく聞く CFDってなに？

いろいろなものに投資できるのがCFD

**最**近、新しい金融商品として登場した「CFD」が注目されています。ちなみに、CFDとはContract For Differenceの略で、直訳すると「差金決済」という意味になります。1990年代のイギリスで取引がはじまり、今や世界中で取引され、ご存知のFX(外国為替証拠金取引)も同じ差金決済取引です。また、株価指数や株式、債券、為替、商品などを取引してその売買差益によって資産を運用するデリバティブ(金融派生商品)の一つです。

CFD  
||  
Contract For Difference  
差金決済

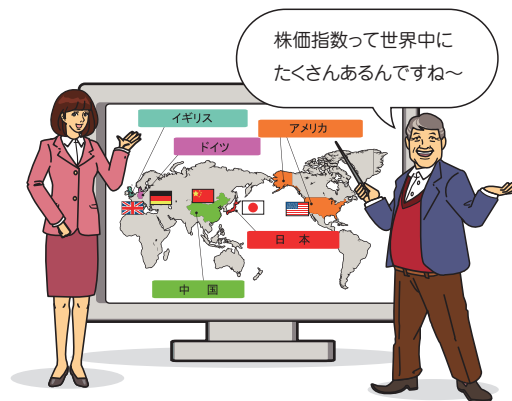
売買するのは銘柄の価格(値動き)

**C**FDでは商品(実物)そのものを売買しません。売買するのは銘柄に付いている価格です。価格を買ったり売ったりして売買差益をねらうことができます。また、CFDでは取引時間が長いこと、買いからだけでなく売りからも取引できること、レバレッジを活用して少ない資金で取引できるなど、多くのメリットがあります。



## 株式市場全体の値動き 株価指数とは!

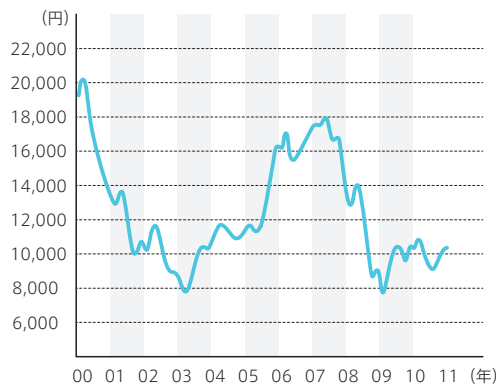
**C** FDの詳しい説明に入る前に、CFDで取引できる銘柄の中で最も身近な「株価指数」がどういうものなのか知っておきましょう。株価指数とは株式市場全体の状況を示すために、個別株式の株価を単純平均や加重平均などを用いて数値化したものです。日本で有名な株価指数は「**日経平均株価(日経225)**」ですが、アメリカ、ドイツ、イギリスなど世界各国の株価指数があります。



## 株高と株安を 理解しよう!

**E** 々々と変動する株価(株価指数)ですが、どうして株価は上下するのでしょうか。株価を決める大きな要素として、企業の将来の業績見通しのほかに、景気や金利・為替の動向、海外市況や国際政治といった経済全体の環境が考えられ、モノやサービスの値段と同じく需要と供給の関係で株価が決まります。株高は「企業価値が上がったこと」、株安は「企業価値が下がったこと」を意味します。また株価は実体経済の動きを先取りするとも言われています。

● 日経平均株価(日経225)の推移



# CFDは手軽で身近な資産運用

## 投資家にとってメリットが多いCFD

数ある資産運用のなかでも、なぜいまCFDが注目を集めているのでしょうか。  
実は、日経225といった身近な株価指数が対象で親しみやすいという点のほかに、  
CFDでは投資初心者でもはじめやすい特長がたくさんあります。  
ここからはCFDのメリットを大きく5つに分けてご紹介します。

### [ メリット1 ]

多彩な銘柄に  
投資できる

### [ メリット2 ]

24時間いつでも  
取引可能

### [ メリット3 ]

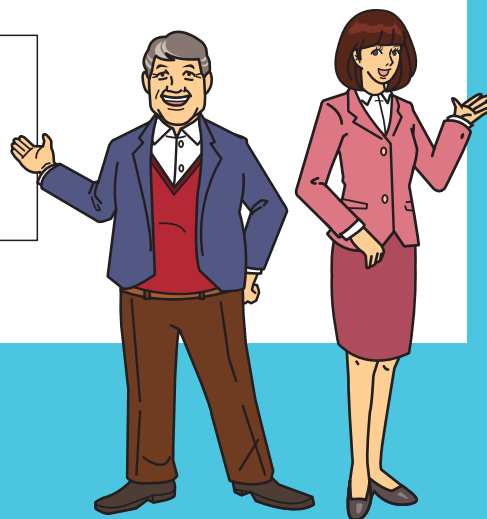
少ない資金で  
大きく運用

### [ メリット4 ]

株高・株安  
どちらもチャンス

### [ メリット5 ]

好きなときに  
決済可能





## 多彩な銘柄に 投資できる

**世**界にはさまざまな種類の投資対象がありますが、例えばアメリカで上場されている株式を買いたい場合、アメリカの証券会社や日本で米国株式を取り扱っている証券会社を探して専用の口座開設をしなければなりません。さらに円からドルへの両替も考慮する必要があります。CFDなら1つの口座を開設するだけで、特徴の異なる株価指数に投資してリスクを分散するなど、幅広い投資を行うことができます。外貨建てのものを円換算させるものや円建てとして為替レートを気にせず取引できるものなど、その種類は様々です。

自宅から世界に投資できる!



## 24時間効率よく 取引可能

**取**引時間が限られている株式市場や投資信託と違い、CFDは24時間取引ができる仕組みとなっています。例えば、東京金融取引所のCFD(日経225)は、朝8:30から翌朝6:00(サマータイム時は同5:00)まで市場が開いています。そのため、インターネットを利用することでほぼ24時間いつでも取引することができます。昼間は会社に勤めている方でも、帰宅後の空き時間などを活用すれば、生活スタイルに合わせて充実した取引が可能です。

● 各市場の主要取引時間 (平成23年2月14日現在)

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
現物株						↔	↔						
大証 日経225先物						↔	↔	↔	↔				
SGX 日経225先物	↔					↔	↔	↔	↔				
SGX 日経225先物ミニ	↔					↔	↔	↔	↔				
くりっく株365 <sup>(※)</sup> 日経225証拠金取引	↔					↔	↔	↔	↔				

※米国ニューヨーク州サマータイム非適用期間の場合。  
米国ニューヨーク州サマータイム適用期間は、午前5時までの取引となります。



## 少ない資金で大きく運用

### 投資にまわせる資金が少なくても取引可能

**ま**ずは少ない資金から資産運用をはじめたいという投資家にとって、CFDは最適な商品です。取扱業者によって異なりますが、CFDの取引口座を開設する場合には10万円程度の資金が必要となります。またCFDは「証拠金取引」ですので、預けた金額以上の取引を可能にするレバレッジを活用すれば、元手の数倍から数十倍の金額を運用することも可能です。CFDなら投資にまわせる資金が少なくても大きく運用することができます(その分リスクも高くなります)。

### レバレッジで資金効率のよい資産運用

**投**資資金の何倍もの金額を取引できる仕組みを「レバレッジ効果」と呼びます。レバレッジとは、直訳すれば「てこの原理」。CFDはこの原理を利用することで、少ない資金でも多額の取引を行うことができるのです。例えば1株100万円の株式を買うには100万円のお金が必要ですが、証拠金取引を導入しているCFDなら、1取引単位5万円程度の証拠金で取引が可能です(レバレッジ20倍)。レバレッジの倍率によって利益も大きくなるため、CFDは資金効率のよい商品といえます。※

※レバレッジが上がればその分リスクも高くなり、損失も大きくなるので注意が必要です。

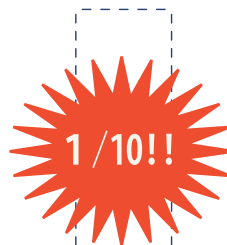


100万円



株式投資(現物)

1株100万円の株式なら  
必要資金は100万円



10万円



CFD(株価指数)

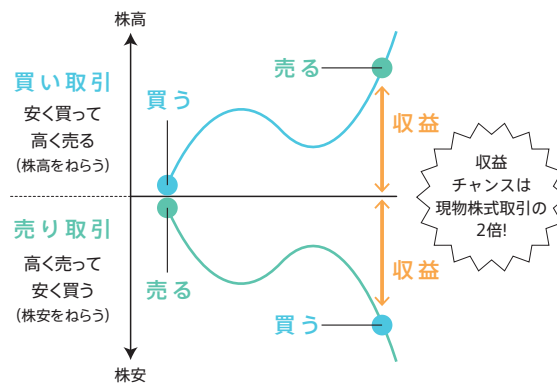
レバレッジ10倍のCFDなら  
必要資金は10分の1!



## 株高・株安 どちらもチャンス

**C** FDは「買い」だけでなく「売り」からもスタートできます。図のように、「買いからの取引」では日経225の価格が上がると、「売りからの取引」では日経225の価格が下がるとそれぞれ利益が発生します。相場の動きに合わせて、日経225を「安く買って高く売る」取引と、「高く売って安く買う」取引をうまく使い分けられれば、相場が株高・株安どちらに動いても収益をねらうことができます。

●「買い取引」と「売り取引」



## 好きなときに 決済可能

**投** 資銘柄の多くには、決済期限が定められています。日経225先物取引の場合、取引期限は限月で決まるため、うまく相場のトレンドに乗れたとしても限月を越えてポジションを保有し続けることができません。一方、東京金融取引所のCFD(日経225)などには決済の期限がありません。したがって、取引した当日中に決済してもいいですし、長期間じっくり保有してから決済してもいいのです。CFDなら決済する時期を自由に決めることができます。

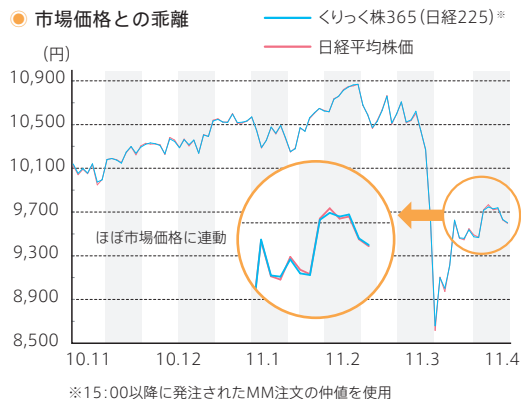


# おさえておきたいCFDの基本



## 市場と同じ 値動きをする？

**C** FDで売買できる銘柄は、実は世界のどこかの市場で取引されていて、通常は市場価格に連動するようになっています。しかし市場の注目度が高い経済指標の発表前後や急激に価格が変動した場合などに、流動性およびCFDの需給から一時的に市場価格との乖離が生じる可能性もあります。



## 価格が2つ 表示されるのは？

**C** FDの取引画面を見ると、1つの銘柄に2つの価格が表示されます。東京金融取引所のCFDであれば、マーケットメイカー(値決め業者)が提示する「売値」と「買値」です。投資家が買う場合はその「売値」で、逆に「売る」場合はその「買値」でそれぞれ取引を行うことになります。そのマーケットメイカーの提示価格を「売り呼び値」、「買い呼び値」といいます。2つの価格差は「スプレッド」と呼ばれ、このスプレッドが小さいものの方が投資家には有利だといえます。

● 取引画面イメージ

商 品		日経225	
数量	(売注文) 買い呼び値	(買注文) 売り呼び値	数量
10	9997	10000	12





## 配当金は受け取れるの？

**C** FDでは銘柄の価格を売買するのであって、ある銘柄を買ってもその所有権は移りません。ただし、「配当金」については、その相当額分の受け払いが発生します（配当相当額の受け払いが発生しない銘柄もあります）。権利確定日に「買いポジション」があれば配当相当額を受け取り、「売りポジション」があれば配当相当額を支払うことになります。

配当相当額を受け取る

配当相当額を支払う

買い  
ポジション

売り  
ポジション



## 手数料やスプレッド以外のコストは？

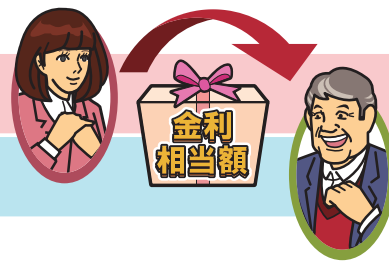
**C** FDは「証拠金取引」です。CFD口座に預託した証拠金は、銘柄の買付資金ではなくトレード資金を借り入れるための担保という扱いですので、ポジションを建てたまま持ち越す場合は、オーバーナイト金利の受け払いが発生します。したがって、「買いポジション」があれば金利相当額を支払い、「売りポジション」があれば金利相当額を受け取るようになります。

金利相当額を支払う

金利相当額を受け取る

買い  
ポジション

売り  
ポジション



# 取引をはじめましょう



## どの銘柄を取引すればいい？

**中** 長期の取引であれば、取引を考えている銘柄を取り巻く経済情勢を分析するファンダメンタルズ分析や、チャートから過去の値動きを分析するテクニカル分析を行って、上昇トレンドや下降トレンドが出ている銘柄が取引しやすいかもしれません。また、経済指標の発表による値動きをねらった短期売買であれば、値動きの大きな銘柄を探してみましょう。

### ● 当社WEBセミナー(Yutaka Market TV)の紹介

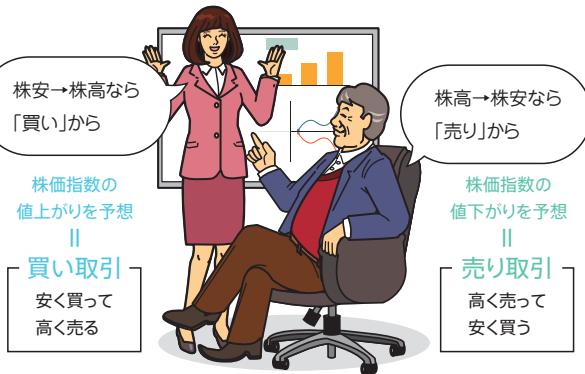


<http://www.yutakamarket.tv/>



## まずは「買い」から？ 「売り」から？

**取** 取引をはじめると、「買い」と「売り」のどちらから始めればよいのでしょうか。簡単にいえば、値上がりを予想するなら「買い」から、値下がりを予想するなら「売り」からスタートしましょう。日経225の場合であれば、今後株高になると思えば「買い」から、株安になると思えば「売り」から取引をはじめることになります。そして、予想通りに日経225が動いたところで決済すれば、利益を得ることができます。



# 忘れてはいけない! CFDのリスク

## 【価格変動リスク】

株価指数CFDは相場の状況によっては短期間で大きく変動する場合があります。予想とは反対の方向に相場が動けば損失が発生します。また、株価指数CFDでは預け入れた証拠金額以上の取引ができるため、損失が証拠金を上回る可能性もあるので注意しましょう。

## 【高レバレッジは要注意】

少額の資金で取引できることは株価指数CFDの魅力のひとつですが、初心者の方は極度に高いレバレッジでの取引は控えた方がいいでしょう。レバレッジの倍率を高くすれば、効率よく大きな利益を上げる可能性はありますが、その分、思惑に反して相場が動いた場合は損失も大きくなります。

## 【金利変動リスク】

ポジションを建てたまま持ち越す場合に発生する金利相当額の受け払いについても注意が必要です。金利は各国の経済状況や経済政策に影響されているため日々変化します。それに伴い、受け払いされる金利相当額も変化します。

## 【信用リスク】

投資家から預託を受けた証拠金は、取扱業者の自己と顧客の資金を分別管理することが法令で定められていますので、原則保全される形になっていますが、信用状況の変化等によっては支払いが滞ったり、取扱業者が破綻した場合には返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他の不測の損失を被る可能性があります。

国内外のニュースを  
チェックしたほうがいい



リスクをしっかりと理解してから  
CFDをはじめよう!



# 損失を限定させるストップロス注文

投資においては、いかに損失を限定させるかが重要になります。そこで役立つのが「ストップロス注文」です。これは、あらかじめ損失限度額を指定しておくことで、指定した値段になったら自動決済し、損失を限定させる方法です。ストップロス注文をしっかりと活用すれば、もし予想がはずれたとしても、大きな損失を避けることができます。なお、国内の法令によりCFD取引では、ロスカットルールを定める仕組みになっています。

日経平均株価(日経225)：

「日経平均株価」は株式会社日本経済新聞社(以下「日本経済新聞社」といいます。)によって独自に開発された手法によって算出された著作物であり、日本経済新聞社は「日経平均株価」自体及び「日経平均株価」を算出する手法に対して、著作権、知的財産権、その他一切の権利を有しています。「日経平均株価」を対象とする株価指数証拠金取引(以下「本件証拠金取引」といいます。)に関するすべての事業、取引規制および実施は、専ら株式会社東京金融取引所(以下「金融取」といいます。)およびその参加者の責任であり、それらについて日本経済新聞社は一切の義務ないし責任を負うものではありません。本件証拠金取引市場を運営するに当たり本件証拠金取引に必要となる「日経平均株価」採用銘柄の配当落ち分は、金融取の責任の下、算出及び公表しています。日本経済新聞社は「日経平均株価」の採用銘柄、算出方法、その他「日経平均株価」の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。日本経済新聞社は「日経平均株価」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負うものではありません。

## 豊トラスティ証券株式会社

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-16-12

TEL : 03-3667-5211

URL : [www.yutaka-trusty.co.jp](http://www.yutaka-trusty.co.jp)

